

鳴り方を調整したい方へ

(ドアクローザーを調整してよく鳴る場合があります)

チャイムの鳴りが大きすぎる（小さすぎる）とき、
ドアクローザーを調整する事で、変化させられる場合があります。

扉にドアクローザーが付いている方は試してみてください。

ドアクローザーにはいろんなタイプがあります。

一般的には

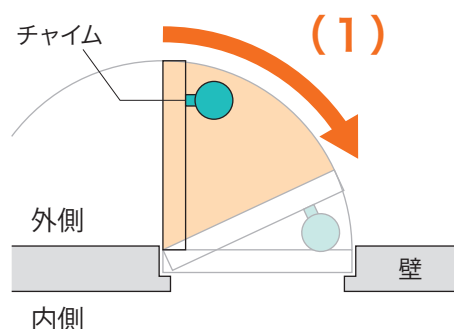
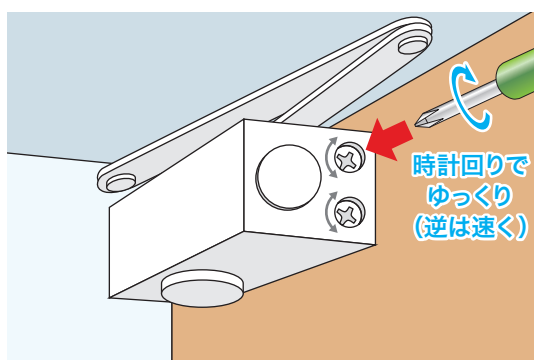
- ①スピード調整機能が無いタイプ
- ②1スピード調整タイプ（開閉スピードを1バルブで調整するタイプ）速くすると鳴りやすくなる場合があります。
- ③2～3スピード調整タイプ（複合的に開閉スピードを調整できるタイプ）

ここでは、例として2段階調整機能付きドアクローザーの調整方法をご説明します。

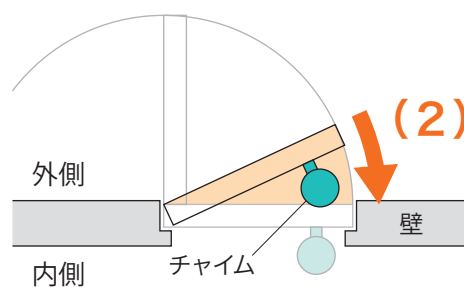
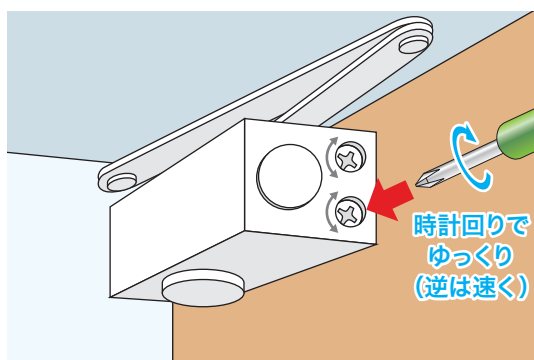
ドア開閉スピードを調整するバルブが2カ所あります。

上が、第一調整弁

下が、第二調整弁です。（逆の場合もあります）



第一調整弁で (1) の範囲のスピードを調整します。



第二調整弁で (2) の範囲のスピードを調整します。

例として、(1) を速く、(2) をゆっくりとなるよう調整すると、スピードのギャップで鳴りやすくなる場合があります。
また、閉まりきる瞬間がゆっくりすぎると、ほとんど鳴らなくなる場合もあります。
ボタンという音や、開閉に差し支えがない様に考慮しながら、少しずつ調整してください。

調整機能が異なるドアクローザーの場合は、メーカーのマニュアルを参照し調整してください。